

令和6年度 活動報告書

1. 目的・実施内容

(1) 学園都市校の運営（神戸市西区：西部拠点） 平成29年8月開校（8年目）

- ①場所：神戸市外国語大学サテライト教室（市営地下鉄学園都市駅前）
- ②日時：毎週日曜日13時～17時（全50回）
- ③2024年度末時点の参加者数
 - ・受講生数 40名（3年13名、2年16名、1年3名、高校生8名）
 - ・講師数 33名（神戸市外大17名、神戸大3名、京大2名、兵庫県立大1名、他大学3名、社会人7名）
 - ・スタッフ数 8名（神戸市職員3名、社会人5名）
- ④進学実績 13名（公立一般5名、公立推薦5名、私立3名）



学園都市校の学習風景

(2) 住吉校の運営（神戸市東灘区：東部拠点） 平成30年4月開校（7年目）

- ①場所：東灘区文化センター（JR住吉駅前）
- ②日時：毎週日曜日午後13時～17時（全50回）
- ③2024年度末時点の参加者数
 - ・受講生数 17名（3年6名、2年4名、1年2名、高校生5名）
 - ・講師数10名（神戸大6名、大阪大1名、社会人3名）
 - ・スタッフ2名（兵庫県職員1名、社会人1名）
- ④進学実績 6名（公立推薦2名、私立3名、通信制1名）



住吉校の学習風景

(3) 支援の充実

- ① 夢ゼミ（大学生講師が、自身の体験や学生生活を通じて勉強する意味をプレゼン）の拡大
 - ・企業の経営者や社員に登壇者を拡大し、一般の中学生も受け入れる。



夢ゼミの風景

- 【NPO連携】 毎月最終土曜日に定例会を開催
NPOキッズドアとの連携（ハイレベル高校生支援の開始、神戸みらい2名）
- 【神戸市連携】 市事業「ぼらくる」でのボランティア講師の紹介(2024年12月～)
市事業「地域貢献応援フェア」スタッフ募集への出展（2025年1月26日）
- 【企業連携】 一般財団法人藤井幸男記念・教育振興会よりドンクパンの差し入れ（毎月最終日曜）
夢ゼミ講師依頼、視察受入
- 【大学連携】 神戸市外国語大学との連携、講師紹介、神戸大学ボランティア論での講師紹介

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

本活動を7年間実施してきたことで、神戸市内ではありますがマッチングの重要性や夢ゼミを実施する地域団体が増えてきたのではないかと考えています。2024年度も積極的に活動を行い、11月9日には全国の学習支援団体を対象に初めて神戸で全国シンポジウムを行いました。また、大学や企業との連携も進めることができたと思います。ただ、企業との連携については想定より遅れており、次年度の課題と考えています。

次年度は、マッチングシステムの精度を上げ、全国展開に向けて改良を行うとともに、全国規模のシンポジウムを引き続き神戸で開催し、地域型学習支援が神戸だけでなく、全国に広がっていくよう全力で取り組みたいと思います。

4. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）

< 神戸市外国語大学 国際関係学科 准教授 中嶋 圭介 >

神戸市職員の方が中心となり、神戸市西区の学園都市地域で中学生を対象に無料の学習支援のボランティア活動を2017年度から実施されている。2018年度には、同市東灘区本山地域（現在は住吉地域）に2校目を開設したほか、市内の複数の学習支援団体と連携して神戸学習支援協議会も設立され、地域に根付いた活動となった。コロナ禍にはオンライン学習を速やかに開始し、神戸市の2020年度「ICTを活用した生活困窮者学習支援事業（リモスタ）」や、2021年度「学びへつなぐ地域型学習支援事業」の創設につなげるなど、市の施策への反映も実現された。2024年度は全国シンポジウムを神戸で開催する等、関係機関と連携しながら積極的に地域社会の課題解決に向けた活動を実践している団体であり、今後の一層の発展を期待している。

以上